

令和元年度

一般廃棄物処理の現況

(令和3年3月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量	1
(2) 各地区の状況	3
(3) 災害廃棄物の状況	6
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 島根県全体の状況	7
(2) 各地区の状況	8
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 島根県全体の状況	12
(2) 各地区の状況	13
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 島根県全体の状況	26
(2) 各地区の状況	27
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	31
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口	37
(2) し尿処理の状況	38
(3) し尿処理施設	39
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	40
(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	40
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要	40
7-2 廃棄物処理事業従事職員	44
7-3 委託・許可件数.....	44
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	44
8. ダイオキシン類対策等の状況	45

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

令和元年度における県内のごみ総排出量は 238,088t (うち、生活系 161,558t、事業系 76,530t) であり、前年に比べ約 0.4%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは、減少傾向だが、事業系ごみは、平成 29 年度より増加傾向を示している。

計画収集人口は 680,741 人 (外国人含む) で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 955g、生活系ごみの 1 人 1 日当たりごみ排出量は 648g である。

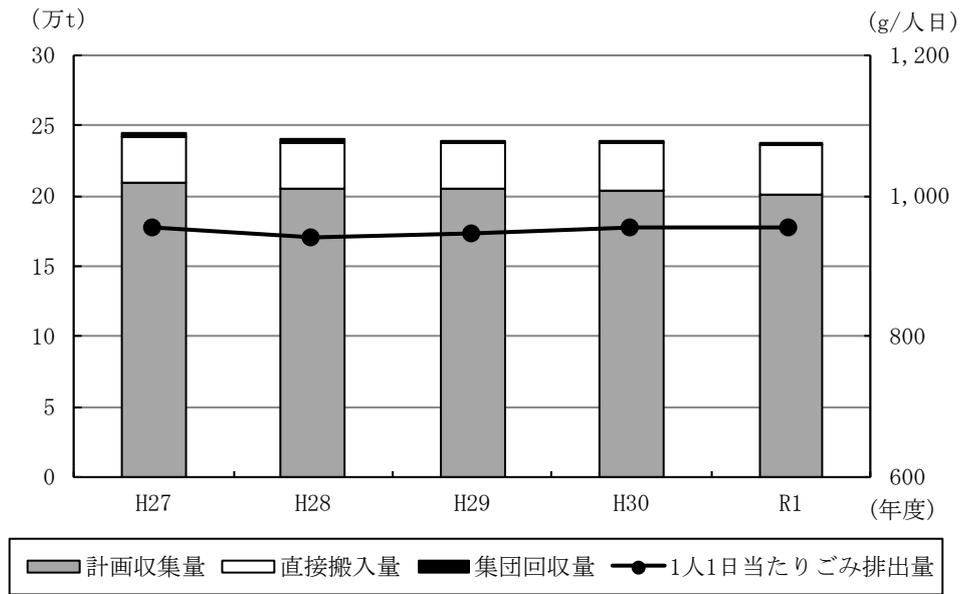
ごみ総排出量は前年度より減少し、1 人 1 日当たりごみ排出量は概ね横ばいである。災害廃棄物 1,011t については、平成 30 年度に発生した豪雨災害の処理を引き続き行ったことによる。

表 1-1 ごみ排出量と処理の推移 (単位：t/年)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総人口(人)	701,871	696,915	691,933	686,362	680,905
計画収集人口	701,699	696,745	691,766	686,197	680,741
自家処理人口	172	170	167	165	164
計画収集率 (%)	99.98	99.98	99.98	99.98	99.98
ごみ総排出量					
計画収集量	209,783	205,734	205,049	203,684	201,307
直接搬入量	32,651	32,514	32,396	33,995	35,427
集団回収量	2,040	1,792	1,526	1,425	1,354
合計	244,474	240,040	238,971	239,104	238,088
生活系ごみ	169,862	166,395	164,053	163,549	161,558
事業系ごみ	74,612	73,645	74,918	75,555	76,530
ごみ総処処理量	241,843	238,073	223,385	237,244	236,690
直接焼却	178,612	177,005	164,053	178,570	180,581
焼却以外	58,416	55,446	53,634	53,608	50,861
直接埋立	4,815	5,622	5,698	5,066	5,248
1人1日当たりごみ排出量 (g)	952	944	946	954	955
1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g)	661	654	650	653	648
災害廃棄物処理量	-	-	-	1,825	1,011

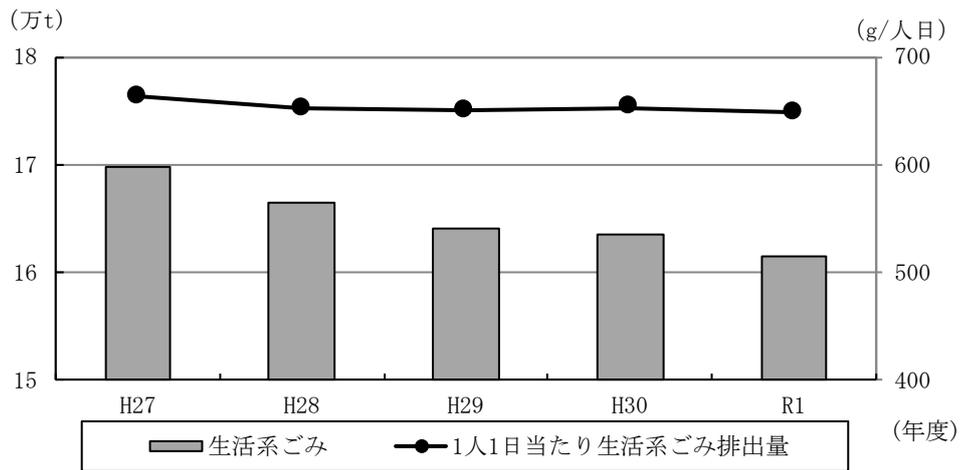
注) 1. 総人口には外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

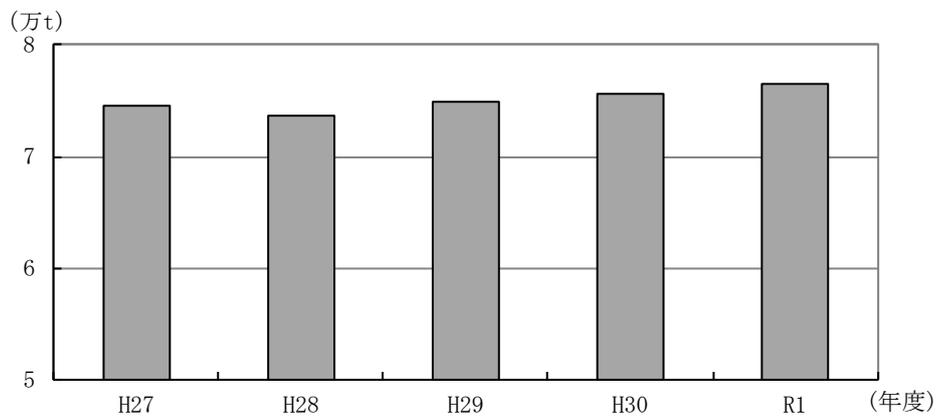


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

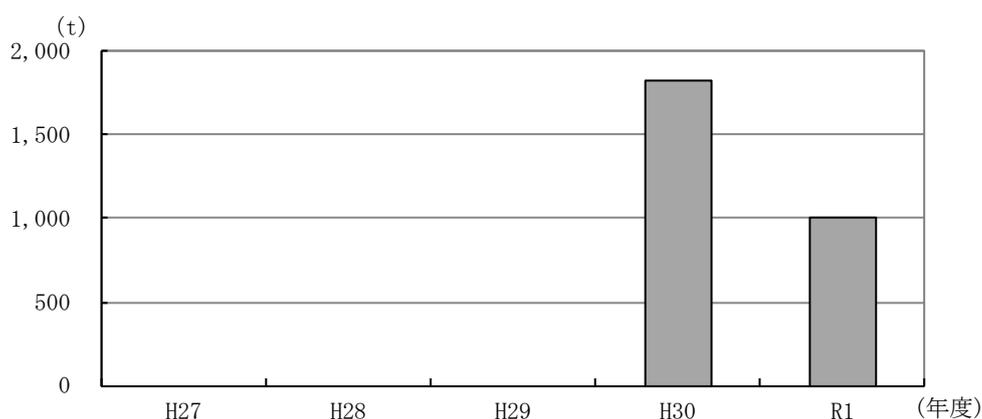


図1-4 災害廃棄物の処理量の推移

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成31年1月31日に焼却施設を廃止し、民間業者へ委託処理している。

令和元年度当地区のごみ総排出量は87,776t（うち、生活系58,333t、事業系29,443t）、処理量合計は87,781tであり、1人1日当たりごみ排出量は996gと県平均の955gを上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和元年度当地区のごみ総排出量は76,951t（うち、生活系49,973t、事業系26,978t）、処理量合計は75,889tであり、1人1日当たりごみ排出量は912gと県平均の955gを下回っている。

<浜田地区>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

令和元年度当地区のごみ総排出量は 63,369t（うち、生活系 45,185t、事業系 18,184t）、処理量合計は 63,028 であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 912g と県平均の 955g を下回っている。

<隠岐地区>

①隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和元年度当地区のごみ総排出量は 9,992t（うち、生活系 8,067t、事業系 1,925t）、処理量合計は 9,992t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,379g と県平均の 955g を大きく上回っている。

表1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

(単位：t/年)

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	240,674	230,556	189,882	19,793
計画収集人口	240,674	230,556	189,718	19,793
自家処理人口	0	0	164	0
ごみ				
計画収集量	77,990	67,097	52,828	3,392
直接搬入量	9,786	8,762	10,279	6,600
集団回収量	0	1,092	262	0
排出量				
合計	87,776	76,951	63,369	9,992
生活系ごみ	58,333	49,973	45,185	8,067
事業系ごみ	29,443	26,978	18,184	1,925
ごみ総処理量	87,781	75,889	63,028	9,992
直接焼却	68,671	54,554	49,441	7,915
焼却以外	18,370	17,057	13,583	1,851
直接埋立	740	4,278	4	226
1人1日当たりごみ排出量 (g)	996	912	912	1,379
災害廃棄物処理量	-	-	1,011	-

注) 総人口は外国人を含んだ人口

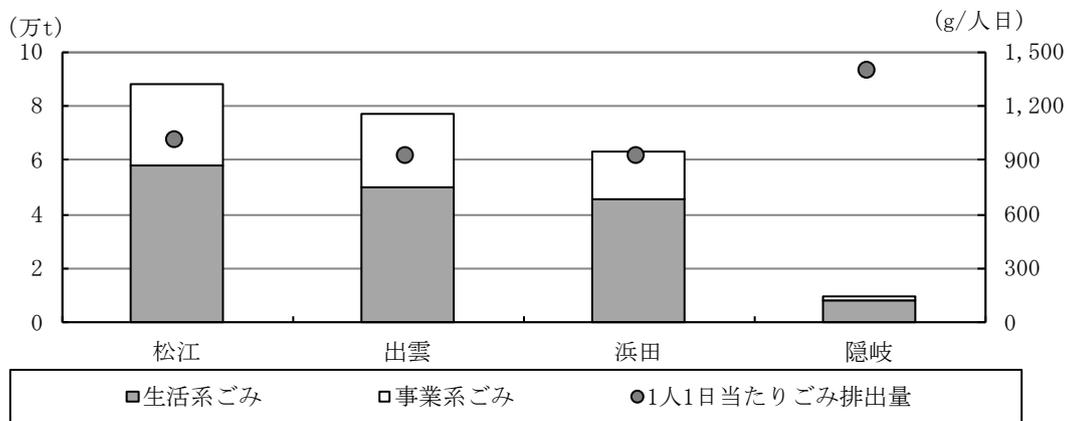


図1-5 ブロック別ごみ排出量

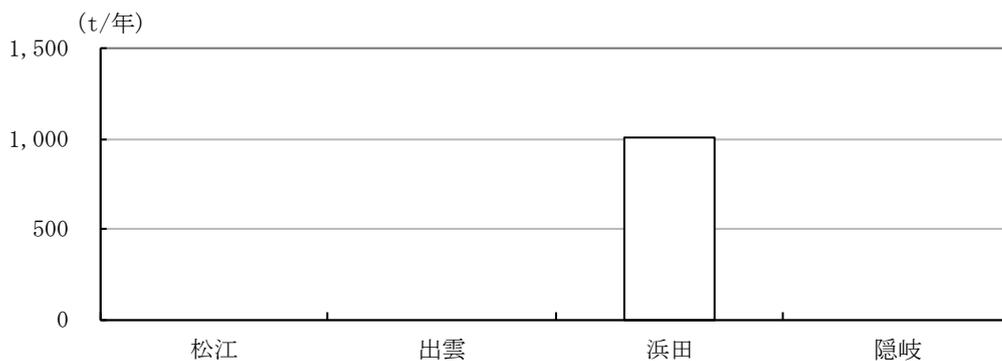


図1-6 ブロック別災害廃棄物

(3) 災害廃棄物の状況

令和元年度に島根県内で災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った災害廃棄物の処理量は1,011 tである。

災害廃棄物の内訳は木くず(43.9%)が最も多く、次いでそのほかがれき類(32.9%)、コンクリートがら(23.0%)である。災害廃棄物の搬入先の内訳は、焼却施設である。

表 1-3 災害廃棄物の排出量

	単位	木くず	コンクリート がら	その他 がれき類	混合ごみ	合計
焼却施設	t	444	233	333	1	1,011

※焼却施設へ搬入を行っているが、実施の処理内訳は不明である。

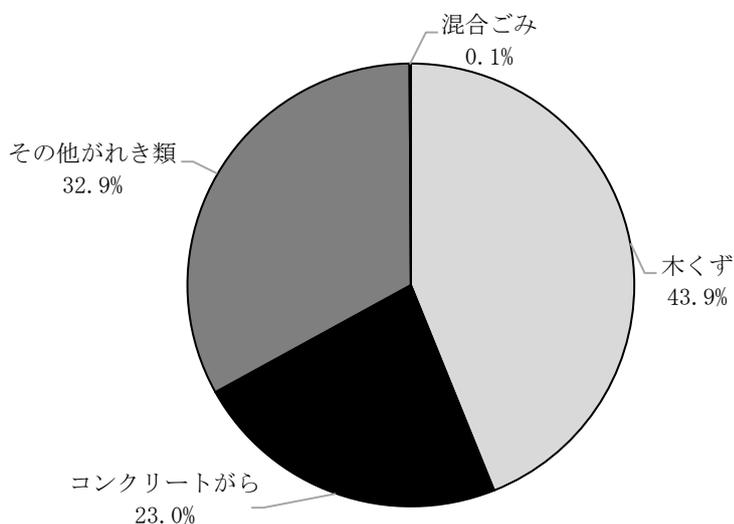


図1-7 災害廃棄物の内訳

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 島根県全体の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

令和元年度に市町村から排出されたごみ量は 238,088t であり、収集内訳は、可燃ごみ 80.2%、不燃ごみ 5.1%、資源ごみ 14.2%、粗大ごみ 0.5%、その他は 0.1%未満であった。

処理内訳では、180,581t(76.3%)は直接焼却され、50,861t(21.5%)は破碎・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの 5,248t(2.2%)は直接埋立とされている。

島根県全体で 48,239t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 49,593t が資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

島根県全体		令和元年度
計画収集量		201,307
収集内訳	可燃ごみ	161,411
	不燃ごみ	10,322
	資源ごみ	28,613
	その他	37
	粗大ごみ	924
直接搬入量		35,427
集団回収量		1,354
総排出量		238,088
自家処理量		8
処理内訳	中間	
	直接焼却	180,581
	焼却以外	50,861
	最終処分	
	直接埋立	5,248
	焼却残渣	10,163
破碎圧縮残渣	5,465	
資源化		48,239
処理合計		236,690
リサイクル率 (%)		20.8
1人1日当たりごみ総排出量(g)		955

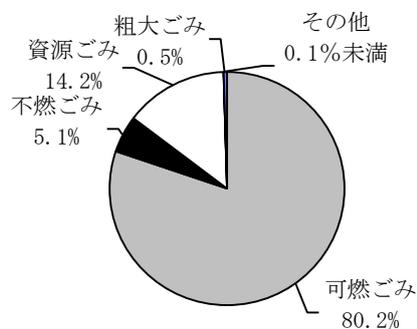


図2-1 ごみの収集内訳

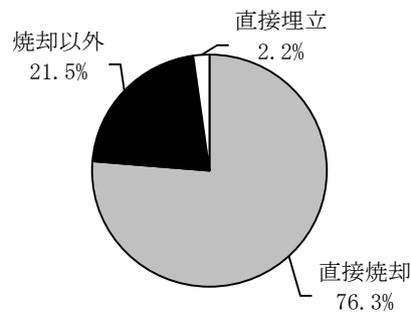


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値
 リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-2、ごみの収集内訳を図2-3、ごみの処理内訳を図2-4に示す。

令和元年度に当地区内から排出されたごみ量は87,776tであり、収集内訳は、可燃ごみ77.5%、不燃ごみ1.2%、資源ごみ20.8%、粗大ごみ0.5%であった。

処理内訳では、68,671t(78.2%)が直接焼却され、18,370t(20.9%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの740t(0.8%)は直接埋立とされている。

当地区全体で23,088tがごみから分別・資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

松江地区		令和元年度	
計画収集量		77,990	
収集内訳	可燃ごみ	60,413	
	不燃ごみ	966	
	資源ごみ	16,239	
	その他	13	
	粗大ごみ	359	
直接搬入量		9,786	
集団回収量		0	
総排出量		87,776	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	68,671
		焼却以外	18,370
	最終処分	直接埋立	740
		焼却残渣	1,567
		破碎圧縮残渣	52
	資源化		23,088
処理合計		87,781	
リサイクル率 (%)		26.3	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		996	

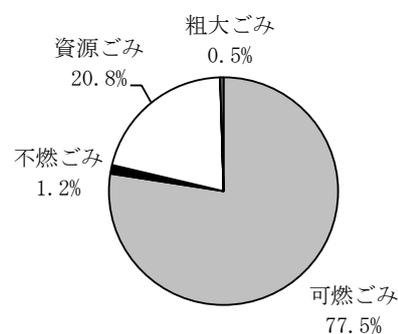
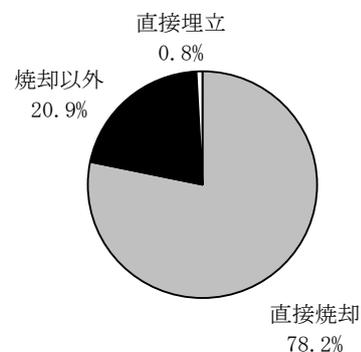


図2-3 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

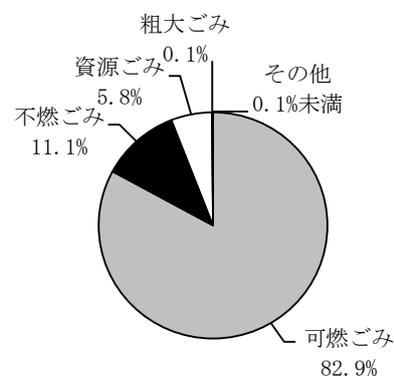
令和元年度に当地区内から排出されたごみ量は76,951tであり、収集内訳は、可燃ごみ82.9%、不燃ごみ11.1%、資源ごみ5.8%、粗大ごみ0.1%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、54,554t(71.9%)が直接焼却され、17,057t(22.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4,278t(5.6%)は直接埋立とされている。

当地区全体で11,516tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると12,608tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

出雲地区		令和元年度	
計画収集量		67,097	
収集内訳	可燃ごみ	55,640	
	不燃ごみ	7,473	
	資源ごみ	3,913	
	その他	19	
	粗大ごみ	52	
直接搬入量		8,762	
集団回収量		1,092	
総排出量		76,951	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	54,554
		焼却以外	17,057
	最終処分	直接埋立	4,278
		焼却残渣	4,729
		破碎圧縮残渣	1,916
	資源化		11,516
	処理合計		75,889
リサイクル率 (%)		16.4	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		912	



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳

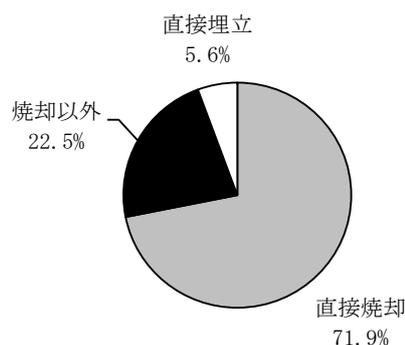


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

令和元年度に当地区内から排出されたごみ量は63,369tであり、収集内訳は、可燃ごみ80.4%、不燃ごみ3.4%、資源ごみ15.4%、粗大ごみ0.8%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、49,441t(78.4%)が直接焼却され、13,583t(21.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4t(0.1%未満)は直接埋立とされている。

当地区全体で12,924tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると13,186tが資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

浜田地区		令和元年度	
計画収集量		52,828	
収集内訳	可燃ごみ	42,460	
	不燃ごみ	1,793	
	資源ごみ	8,129	
	その他	5	
	粗大ごみ	441	
直接搬入量		10,279	
集団回収量		262	
総排出量		63,369	
自家処理量		8	
処理内訳	中間	直接焼却	49,441
		焼却以外	13,583
	最終処分	直接埋立	4
		焼却残渣	2,668
		破碎圧縮残渣	2,362
	資源化		12,924
処理合計		63,028	
リサイクル率 (%)		20.8	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		912	

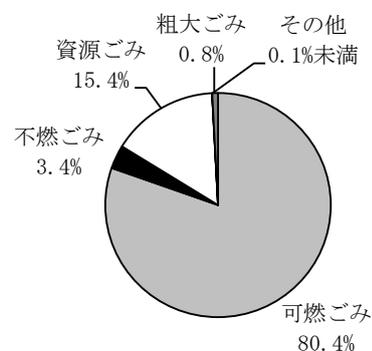


図2-7 ごみの収集内訳

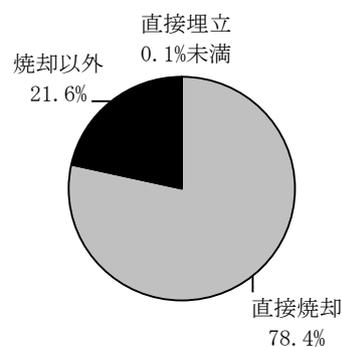


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

令和元年度に当地区内から排出されたごみ量は 9,992t であり、収集内訳は、可燃ごみ 85.4%、不燃ごみ 2.7%、資源ごみ 9.8%、粗大ごみ 2.1%であった。

処理内訳では 7,915t (79.2%) が直接焼却され、1,851t (18.5%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 226t (2.3%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 711t がごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位 : t)

隠岐地区		令和元年度	
計画収集量		3,392	
収集内訳	可燃ごみ	2,898	
	不燃ごみ	90	
	資源ごみ	332	
	その他	0	
	粗大ごみ	72	
直接搬入量		6,600	
集団回収量		0	
総排出量		9,992	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	7,915
		焼却以外	1,851
	最終処分	直接埋立	226
		焼却残渣	1,199
		破碎圧縮残渣	1,135
	資源化		711
処理合計		9,992	
リサイクル率 (%)		7.1	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,379	

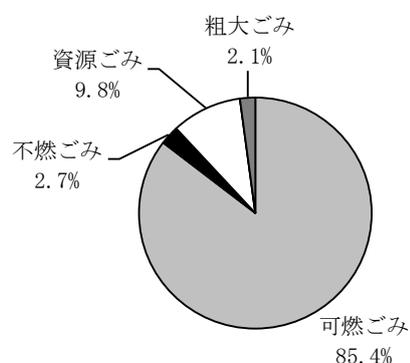


図2-9 ごみの収集内訳

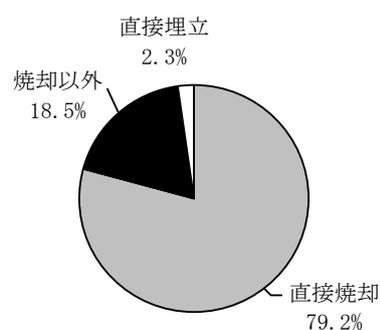


図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値
 リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 島根県全体の状況

令和元年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-1、2に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は10施設(処理能力708.56t/日)、ごみ燃料化施設は、1施設(処理能力30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は2施設、資源化等の施設は16施設、粗大ごみ処理施設は13施設、保管施設は12施設である。

埋立中の最終処分場は24施設あり、全体埋立容量は1,891,478m³、残余容量は575,999m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	16	199.07	—
粗大ごみ処理施設	13	231.9	—
保管施設	12	16,537 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	24	1,891,478 (m ³)	575,999 (m ³)

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化熔融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	1	6	3	1	11
規模(t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化熔融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は734,641m³、残余容量は92,277m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	4	96	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	9,668 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	734,641 (m ³)	92,277 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5 に示す。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 99,304m³、残余容量は 50,210m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	-
最終処分場	3	99,304 (m ³)	50,210 (m ³)

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-6、7に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m³、残余容量は13,336m³となっている。

表3-6 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	20	-
粗大ごみ処理施設	1	7	-
最終処分場	1	61,800 (m ³)	13,336 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-7 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-8～10に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m³、残余容量は11,225m³となっている。

表3-8 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	760(t/年度) ^{※1}	-
最終処分場	3	41,300 (m ³)	11,225 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-9 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-10 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-11、12 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 522,304m³、残余容量は 231,687m³となっている。

表3-11 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	48	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	2,081 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	522,304 (m ³)	231,687 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-12 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-13、14 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 50,000m³、残余容量は 45,937m³となっている。

表3-13 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	2	6.9	—
粗大ごみ処理施設	1	8	—
保管施設	2	938 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	1	50,000 (m ³)	45,937 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-14 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-15、16に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m³、残余容量は2,083m³となっている。

表3-15 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	2,001 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	2,083 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-16 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-17、18 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 114,900m³、残余容量は 67,210m³となっている。

表3-17 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場 ^{※1}	2	114,900 (m ³)	67,210 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-18 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-19、20に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m³、残余容量は19,667m³となっている。

表3-19 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	893(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	149,729(m ³)	19,667(m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-20 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-21、22に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設(処理能力7t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m³、残余容量は4,214m³となっている。

表3-21 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	59 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	4,214 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、令和元年度保管量である。

表3-22 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-23、24に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は1施設（処理能力10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は11,200m³、残余容量は10,524m³となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-23 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	10	-
最終処分場	1	11,200 (m ³)	10,524 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-24 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町 ごみ焼却場清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-25、26 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-25 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	1.56	-

表3-26 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-27、28 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m³、残余容量は 27,629m³となっている。

表3-27 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	25	-
資源化等の施設	1	2.7	-
最終処分場	1	80,000 (m ³)	27,629 (m ³)

表3-28 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 島根県全体の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

令和元年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は48,239tであった。その内、紙類が12,391t(25.7%)で最も多く、次に、熔融スラグ8,602t(17.8%)、金属類5,733t(11.9%)であった。

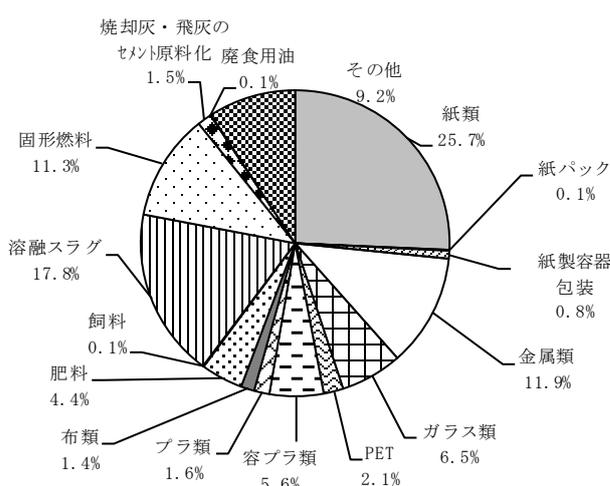
また、集団回収により資源化された量は1,354tであり、紙類が1,242t(91.7%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

(単位：t)

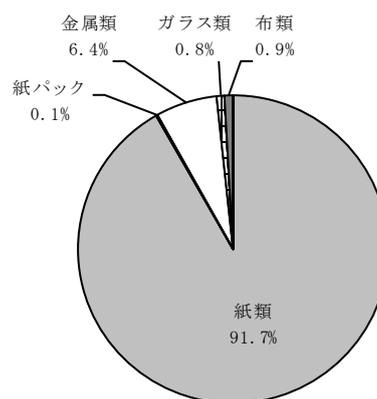
区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	12,391	50	396	5,733	3,125	992	2,725	777	675
集団回収	1,242	2	0	87	11	0	0	0	12

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,121	48	8,602	5,431	718	38	4,417	48,239
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	1,354



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

令和元年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は23,088tであった。その内、紙類が5,597t(24.2%)で最も多く、次に、溶融スラグ6,011t(26.0%)、金属類2,314t(10.0%)であった。

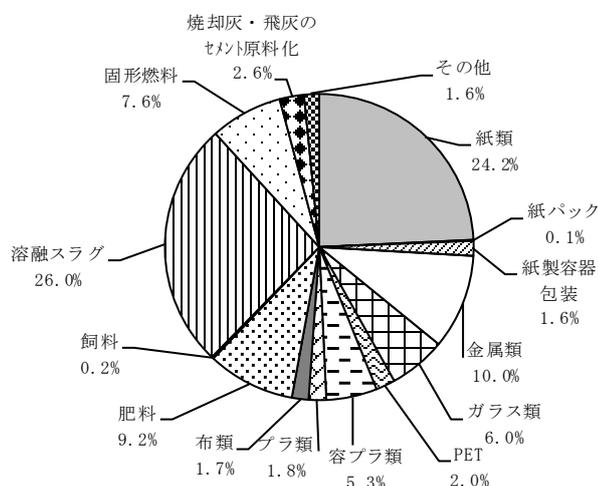
松江地区では集団回収が実施されていない。

表4-2 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	5,597	27	360	2,314	1,384	465	1,228	424	403

区分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,121	48	6,011	1,752	590	0	364	23,088



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-4、集団回収の内訳を図4-5に示す。

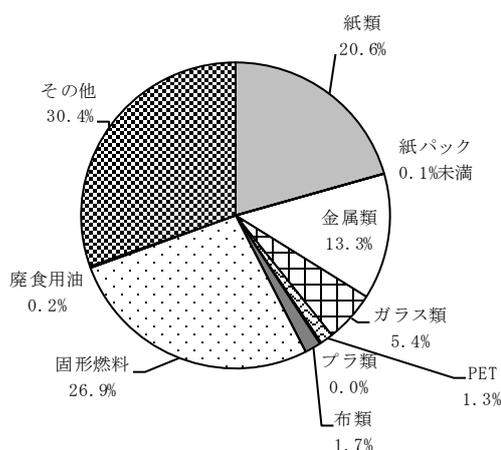
令和元年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は11,516tであった。その内、その他が3,500t(30.4%)で最も多く、次に固形燃料3,100t(26.9%)、紙類2,371t(20.6%)であった。

また、集団回収により資源化された量は1,092tであり、紙類が1,006t(92.1%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	2,371	1	0	1,534	620	155	19	0	196
集団回収	1,006	1	0	69	4	0	0	0	12

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	3,100	0	20	3,500	11,516
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	1,092



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-4 市町村による資源化の内訳

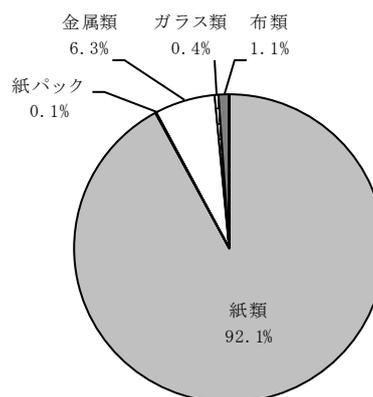


図4-5 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-6、集団回収の内訳を図4-7に示す。

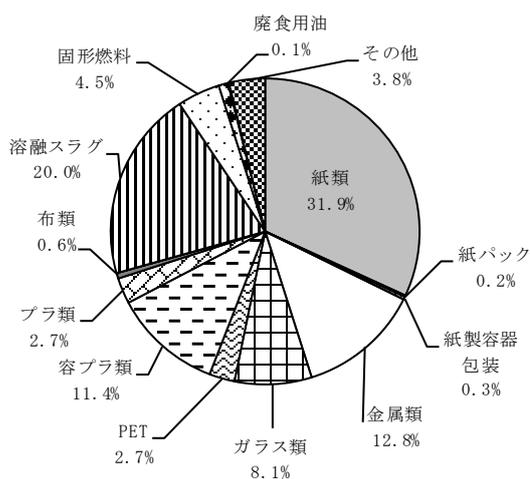
令和元年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は12,924tであった。その内、紙類が4,119t(31.9%)で最も多く、次に熔融スラグ2,591t(20.0%)、金属類1,656t(12.8%)であった。

また、集団回収により資源化された量は262tであり、紙類が236t(90.0%)とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況 (単位：t)

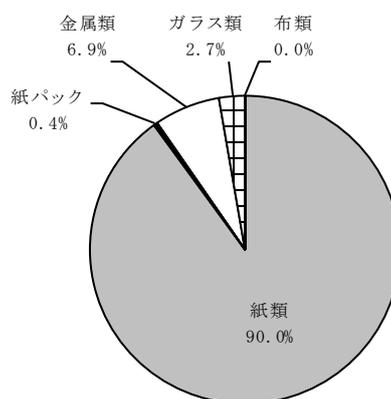
区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	4,119	22	36	1,656	1,042	344	1,478	353	76
集団回収	236	1	0	18	7	0	0	0	0

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	2,591	579	128	13	487	12,924
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	262



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-6 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-7 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

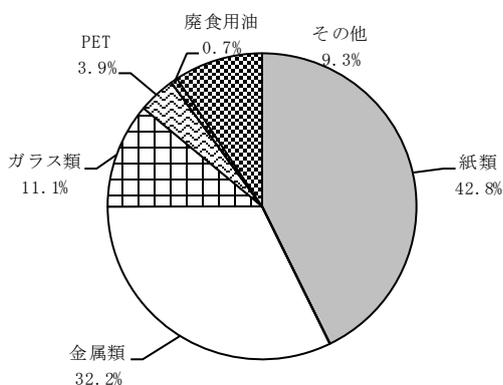
隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-8 に示す。

令和元年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 711t であった。その内、紙類が 304t (42.8%) で最も多く、次に金属類が 229t (32.2%)、ガラス類 79t (11.1%) であった。

表4-5 資源化の状況 (単位：t)

区 分	紙類	紙パ ^ッ ク	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類	布類
市町村	304	0	0	229	79	28	0	0	0

区 分	肥料	飼料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛 灰のセメン ト原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	0	0	5	66	711



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-8 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

令和2年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和2年12月1日現在）について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が8自治体と最も多く、次にパンフレットの作成、生ごみ堆肥化装置の設置補助が5自治体となっている。予算については、イベント等の開催、不法投棄防止関連事業が多い。

表5-1 令和2年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和2年12月1日現在）

事業名	事業の概要	市町村	当初予算額
パンフレットの作成	子供用パンフレット、手数料改定チラシ、ごみ減量化・3R推進パンフレット作成、収集カレンダー等	松江市、出雲市、大田市、江津市、奥出雲町	1,283千円
啓発用映像資料	ごみ減量化等啓発用DVD作成、可燃ごみ分別一部変更の啓発用	大田市、雲南市、飯南町、雲南市・飯南町事務組合	
副読本作成	ごみ分別早見表の追加印刷	浜田市	659千円
廃棄物減量化等協議会開催	生活環境保全推進委員会、廃棄物減量等推進協議会等	松江市、浜田市、江津市	982千円
リサイクルバザーの開催	グリーンピースDE護美の市、フリーマーケット	松江市	10千円
イベント等の開催	環境関係イベントの開催 古着市の開催	松江市、安来市	4,467千円
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	松江市、益田市、津和野町	1,527千円
資源ごみ回収機器の貸出	選定枝粉砕機の貸出	出雲市	20千円
不法投棄防止関連事業	看板設置、パトロール等	松江市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市 奥出雲町、隠岐の島町	5,632千円
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	大田市、益田市、川本町、津和野町、西ノ島町	556千円
その他	ごみ減量化啓発業務委託料等	出雲市	2,218千円
合 計		-	17,896千円

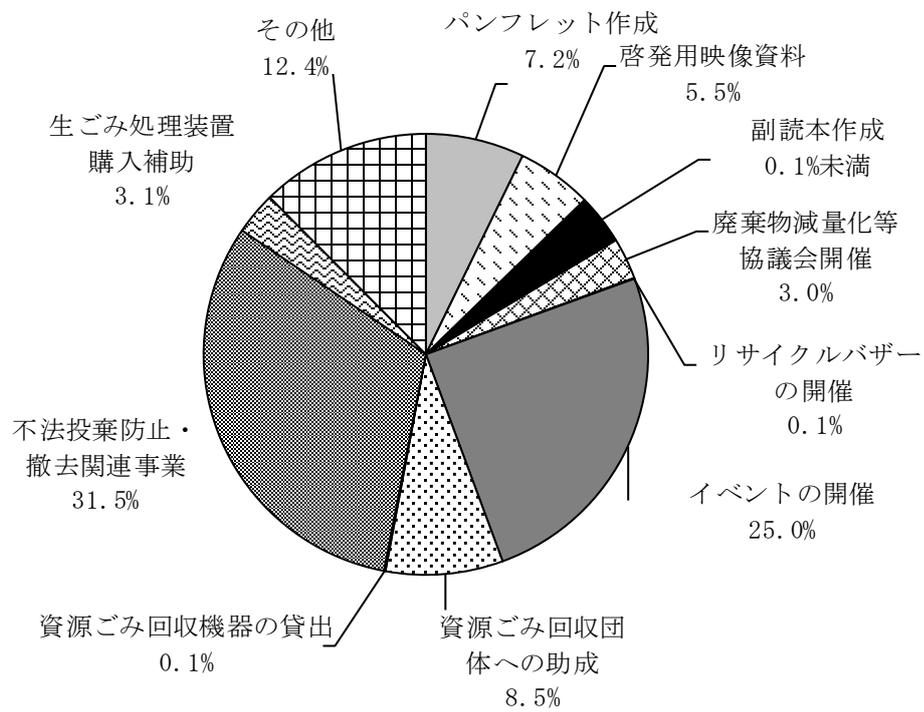


図5-1 令和2年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳
(令和2年12月1日現在)

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和2年度(令和2年12月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	13/27/40/61 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	半透明(緑色) シール(粗大)	10/20/50L	22/33/44 円 シール 254 円	中密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青色) シール(粗大)	5/10/20/50L	11/22/33/44 円 シール 254 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	半透明(橙色)	10/20L	11/16.1 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	半透明(灰色)	20/50L	16.1/22 円	
資源(ペット・プラ)	半透明(水色)	20/50L	16.1/22 円		
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/31/52 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	31/52 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄色)	800×650mm 700×550mm 600×500mm	61 円 41 円 31 円	高密度ポリエチレン
		袋に入らない物	シール 2 枚	60 円	
	不燃	半透明(緑色)	(大)850×650mm (小)700×550mm	51 円 31 円	高密度ポリエチレン
		袋に入らない物	シール 1 枚	60 円	
資源(容器包装プラのみ)	透明	860×650mm 690×540mm	20 円 15 円	高密度ポリエチレン	
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	26/31/52 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白) シール(粗大)	20/30/45L	26/31/52 円 524 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	16/22 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	26/37/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	白 シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度ポリエチレン
	資源	指定なし			
雲南市 (雲南1地区センター)	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L(手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
雲南市 (いいしクリーンセンター)	可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青色)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑色)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(黒字)	25 L	16.5 円	ビ ン : 低密度ポリエチレン その他 : 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L			

注)1. 材質は市町村の調査結果を記載している。

2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和2年度(令和2年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
美郷町		可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
		資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装 ^ポ ラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
邑南町		可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
		資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装 ^ポ ラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
津和野町		可燃	半透明(乳白)	290×750mm 490×800mm	30/51 円	高密度ポリエチレン
		資源(容器 ^ポ ラ)	半透明(桃色字)	290×750mm	30/51 円	高密度ポリエチレン
		(商品 ^ポ ラ)	半透明(黄字)	490×800mm		
(缶類)	透明(黒字)	(ビン)400× 750mm				
吉賀町		可燃	半透明	450×800 mm 360×800 mm 360×600 mm	51 円 34 円 25.5 円	高密度ポリエチレン
		資源(容器 ^ポ ラ)	半透明	450×980 mm 450×980 mm 450×980 mm 400×800 mm	51 円	高密度ポリエチレン
海士町		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット		70 円	紙
知夫村		可燃	半透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100 円	ポリエチレン PE
		不燃	チケット券		200/1000 円券	
		資源(ビン)	半透明(黄色)	30 L	140 円	ポリエチレン PE
		資源(カン)	"	30/45 L	70/140 円	
西ノ島町		可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青色)	30/45L	55/82 円	低密度ポリエチレン
			袋に入らないもの	粗大ゴミシール	55/82 円 820 円	
隠岐の島町		可燃	チケット(2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)
		不燃	チケット(2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)
		資源	半透明	550×690 mm	無料	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南工社 ^{センター})		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (いいし ^{センター})		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
鹿足郡不燃物 処理組合		不燃	半透明	45 L	50 円	高密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

令和2年度(令和2年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45 L	設定なし	炭酸ｶﾝの入りﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	透明(黄)	30/45 L	設定なし	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
浜田市		可燃	半透明(黄色)	50 L	88 円	中密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(桃色)	50 L	88 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(茶色)	50 L	44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
出雲市		可燃	白色(赤字)	40 L	123 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃 (破碎ごみ)	黄色(赤字) 赤色(赤字)	40 L	123 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃 (埋立ごみ)				
益田市		可燃	半透明(青色)	800×650mm	100 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
大田市		可燃	半透明(緑)	45 L	105 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
江津市		可燃	半透明(白)	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
雲南市 (雲南工務センター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L(手さげ型)	30/45 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
雲南市 (いいしきセンター)		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
飯南町		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(青)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(緑)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/51 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源(容器ﾌﾟﾗｽチック) (商品ﾌﾟﾗｽチック) (缶類) (びん類)	透明(桃文字) 透明(黄文字) 透明(黒文字) 透明(青文字)	290×750mm 490×800mm びん類 400× 750mm	30/51 円 びん類 51 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		可燃	半透明	450×800 mm 360×800 mm 360×600 mm	51 円 34 円 25.5 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源(容器ﾌﾟﾗｽチック) (商品ﾌﾟﾗｽチック) (カン類) (ビン類)	半透明	450×980 mm 450×980 mm 450×980 mm 400×800 mm	51 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
海士町		可燃	チケツト		70 円	紙
		不燃	チケツト		70 円	紙
		資源	チケツト 半透明(黄)	800×600 mm	70 円	紙 ﾌﾟﾘﾝﾄ (酸化鉄配合)
西ノ島町		可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南工務センター)		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	32/43 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	32/43 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしきセンター)		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾌﾟﾘﾝﾄ

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ堆肥化装置の設置補助(令和2年度)

市町村名	補助基準	備 考
益田市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/2、限度額 15 千円	コンポスト 電気式
大田市	補助率 1/2、限度額 3 千円	コンポスト、電気式とも同一 1 世帯当たり 2 基まで
川本町	補助率 1/2、限度額 3 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	
津和野町	補助率 1/2、限度額 3.5 千円 (100 円未満切捨て) 補助率 1/3、限度額 20 千円 (100 円未満切捨て)	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基)
西ノ島町	補助率 1/2、限度額 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、限度額 10 千円(町外購入)	

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

島根県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

令和元年度における県内の水洗化人口は、569,500 人(83.6%)、非水洗化人口は、111,405 人(16.4%)である。水洗化人口は前年の 0.6%増で、平成 27 年度と比べると 1.1%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総人口(人)	701,871	696,915	691,933	686,362	680,905
水洗化人口(人)	564,615	565,718	566,225	568,927	569,500
下水道人口(人)	285,869	288,694	296,085	298,514	298,322
コミュニティ・プラント人口(人)	4,415	4,288	4,154	4,121	4,077
浄化槽人口(人)	274,331	272,736	265,986	266,292	267,101
非水洗化人口(人)	137,256	131,197	125,708	117,435	111,405
計画収集人口(人)	134,437	128,878	123,584	115,366	109,373
自家処理人口(人)	2,819	2,319	2,124	2,069	2,032
総処理量(kL/年)	270,749	265,375	263,341	262,621	260,290
し尿計画処理量(kL/年)	92,286	88,583	85,035	82,432	78,614
自家処理量(kL/年)	2,319	1,374	1,257	1,102	1,072
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	176,144	175,418	177,049	179,087	180,604

注) 総人口に外国人含む。

総人口＝水洗化人口＋非水洗化人口

水洗化人口＝下水道人口＋コミュニティ・プラント人口＋浄化槽人口

非水洗化人口＝計画収集人口＋自家処理人口

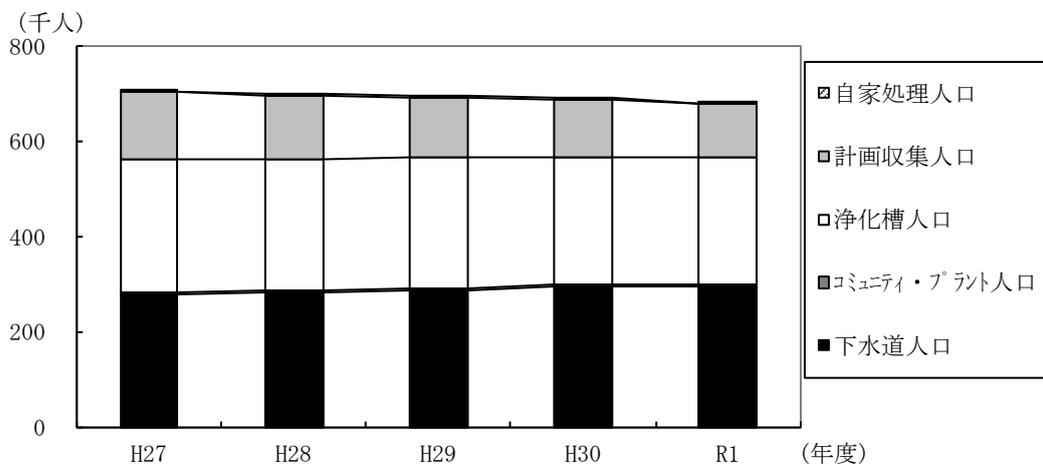
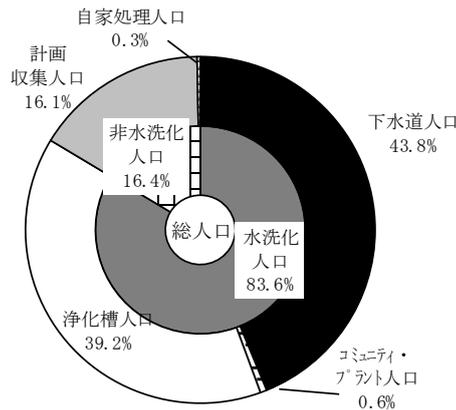


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗化人口 + 非水洗化人口
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

令和元年度における県内の総処理量は、260,290kLで、前年より約1.4%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が69.4%、し尿計画処理量が30.2%、自家処理量0.4%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は1.97L/人日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.82L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		令和元年度
総処理量 (kL/年)		260,290
内訳	し尿計画処理量	78,614
	自家処理量	1,072
	浄化槽汚泥計画処理量	180,604
し尿計画処理量 (kL/年)		78,614
内訳	下水道投入	5,729
	し尿処理施設	72,877
	農村還元	8
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		180,604
内訳	下水道投入	23,680
	し尿処理施設	156,778
	農村還元	146
1日1人当たりし尿計画処理量 (L/人日)		1.96
1日1人当たりし尿排出量 (L/人)		1.95
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)		1.82

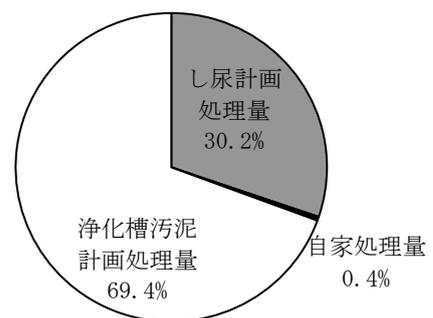


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量
 1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 366日 × 10³
 1人1日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 366日 × 10³
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 366日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

令和元年度の県内のし尿処理施設数は 11 施設（処理能力 765.8kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m³/日）である。

浄化槽設置基数は合計 70,617 基で、去年より 408 基増加している。

令和元年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 641 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設							コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	膜分離	高負荷膜分離	その他	合計	
施 設 数	1	1	4	1	4	1	11	9
規模(kL/日)	46.4	27	224	193	397	71.4	765.8	2,368 (m ³ /日)

注1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 一次処理……一次処理後に下水道に放流
 標脱……標準脱窒素処理方式（旧低二段）
 膜分離……膜分離処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設置基数	69,908	710	103	95	70,816

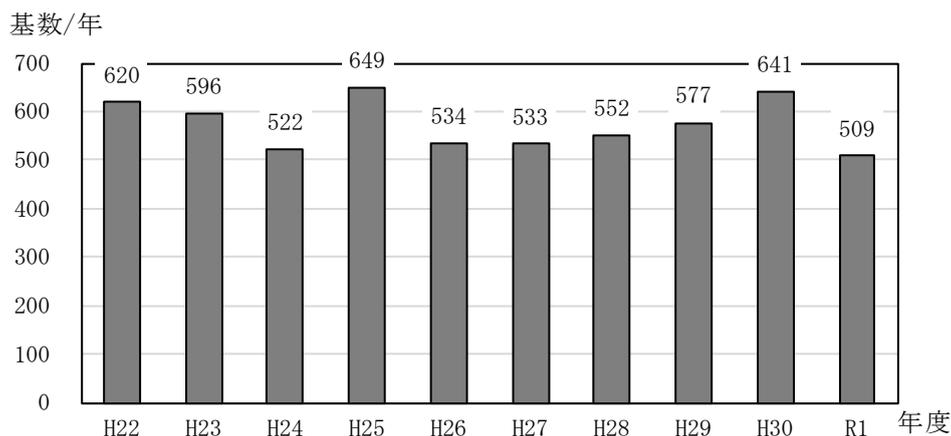


図6-4 浄化槽設置基数(個人設置型)の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要

島根県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

令和元年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 16,988,971 千円であり、前年より 21.3%増加している。経費の内訳はごみ処理が 15,281,829 千円、し尿処理が 1,707,142 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

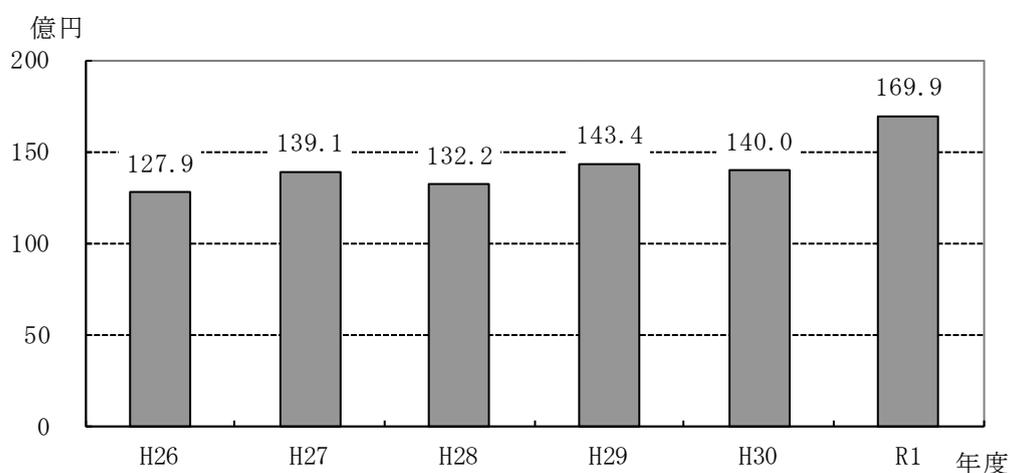


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(島根県全体)

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、出雲地区 5,714,173 千円 (37.4%) と最も多く、次いで浜田地区が 4,822,788 千円 (31.6%)、松江地区 3,843,888 千円 (25.2%)、隠岐地区 900,980 千円 (5.9%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(島根県全体)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	603,597	0	3,071,600	2,435,508	2,563,061	1,078,005	8,093,119	15,281,829
し尿	1,283	1,983	125,400	213,732	356,888	15,741	1,349,003	1,707,142
計	604,880	1,983	3,197,000	2,649,240	2,919,949	1,093,746	9,442,122	16,988,971

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(島根県全体)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費			小計
	収集運搬 施設	中間処理施 設	最終処分 場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	3,814,595	302,546	384,609	37,696	119,900	4,539,446	1,319,587	91,883	1,226,413	134,289	33,563	2,220,188	3,887,069	235,060	678,582	2,443,161	23,285	9,849,919	892,464	15,281,829
し尿	0	81,739	0	8,349	0	0	90,088	231,569	45,615	281,927	0	0	76,058	906,327	23,244	11,043	356,888	4,008	1,579,791	37,263	1,707,142
計	0	3,896,334	302,546	392,958	37,696	119,900	4,629,534	1,551,156	137,498	1,508,340	134,289	33,563	2,296,246	4,793,396	258,304	689,625	2,800,049	27,293	11,429,710	929,727	16,988,971

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

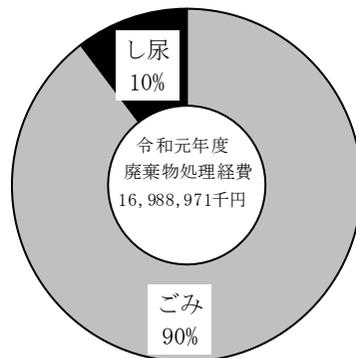


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(島根県全体)

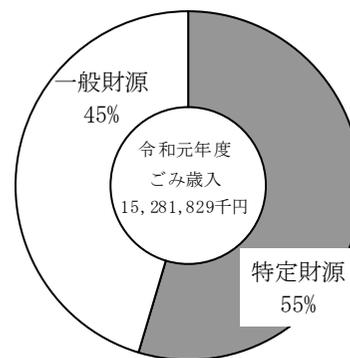


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(島根県全体)

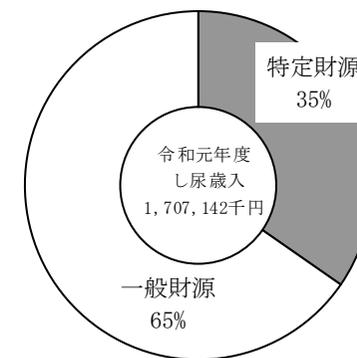


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(島根県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	453,050	0	3,071,600	2,191,458	1,042,505	7,240,207	13,998,820
し尿	1,283	1,983	125,400	194,467	15,734	1,339,420	1,678,287
計	454,333	1,983	3,197,000	2,385,925	1,058,239	8,579,627	15,677,107

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調査研 究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	3,314,051	42,378	1,166	37,696	119,900	3,515,191	1,097,861	91,406	884,290	119,200	33,563	2,021,747	2,619,021	226,108	415,054	2,443,161	11,248	9,962,659	520,970	13,998,820
し尿	0	81,739	0	8,349	0	0	90,088	181,695	45,615	236,809	0	0	65,290	663,153	18,361	11,043	356,888	0	1,578,854	9,345	1,678,287
計	0	3,395,790	42,378	9,515	37,696	119,900	3,605,279	1,279,556	137,021	1,121,099	119,200	33,563	2,087,037	3,282,174	244,469	426,097	2,800,049	11,248	11,541,513	530,315	15,677,107

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	150,547	0	0	244,050	2,563,061	35,500	852,912	3,846,070
し尿	0	0	0	19,265	356,888	7	9,583	385,743
計	150,547	0	0	263,315	2,919,949	35,507	862,495	4,231,813

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(令和元年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	500,544	260,168	383,443	0	1,144,155	221,726	477	342,123	15,089	0	198,441	1,268,048	8,952	263,528	12,037	2,330,421	371,494	3,846,070
し尿	0	0	0	0	0	0	49,874	0	45,118	0	0	10,768	243,174	4,883	0	4,008	357,825	27,918	385,743
計	0	500,544	260,168	383,443	0	1,144,155	271,600	477	387,241	15,089	0	209,209	1,511,222	13,835	263,528	16,045	2,688,246	399,412	4,231,813

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）

（令和元年度、単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	0	483,100	1,015,121	0	341,013	2,004,654	3,843,888
出雲地区	410,437	0	1,917,300	913,026	838,131	382,164	2,091,246	5,714,173
浜田地区	150,547	0	296,200	417,094	1,724,930	327,513	3,631,434	4,822,788
隠岐地区	42,613	0	375,000	90,267	0	27,315	365,785	900,980
合計	603,597	0	3,071,600	2,435,508	2,563,061	1,078,005	8,093,119	15,281,829

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）

（令和元年度、単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費												その他	合計
	工事費				調査費	〔組合〕 〔分担金〕	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				〔組合〕 〔分担金〕	調査 研究費	小計		
	収集運搬 施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	510,249	929	1,166	0	0	512,344	395,216	7,055	125,945	53,051	9,150	881,382	1,529,744	38,701	0	0	11,248	3,051,492	280,052	3,843,888
出雲地区	0	2,635,919	0	3,209	37,696	0	2,676,824	330,924	7,487	857,096	54,486	11,955	652,751	869,139	20,160	19,261	838,131	0	2,823,259	214,090	5,714,173
浜田地区	0	288,570	262,198	380,234	0	119,900	931,002	425,354	60,902	158,534	17,551	6,518	654,078	1,370,458	169,670	627,311	1,605,030	12,037	3,502,413	389,373	4,822,788
隠岐地区	0	379,857	39,419	0	0	0	419,276	168,093	16,439	84,838	9,201	5,940	31,977	117,728	6,529	32,010	0	0	472,755	8,949	900,980
合計	0	3,814,595	302,546	384,609	37,696	119,900	4,539,446	1,319,587	91,883	1,226,413	134,289	33,563	2,220,188	3,887,069	235,060	678,582	2,443,161	23,285	9,849,919	892,464	15,281,829

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

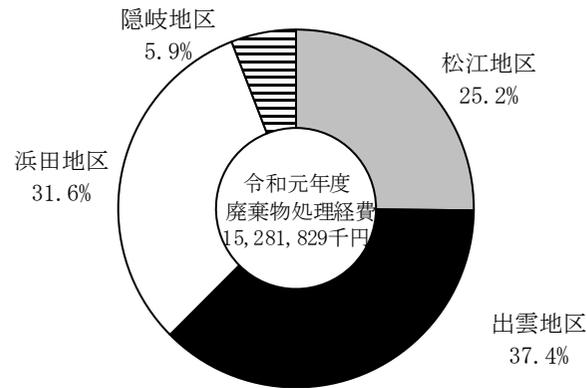


図 7-5 地区別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
令和元年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 268 人である。
内訳は、ごみ処理が 232 人、し尿処理が 36 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一 般 職	事 務 系	112	13	12	3	124	16	140
	技 術 系	28	5	9	3	37	8	45
技 能 職	収集・運搬	33	0	0	0	33	0	33
	中間処理	22	14	4	0	26	14	40
	最終処分	3	2	0	0	3	2	5
	そ の 他	0	0	5	0	5	0	5
合 計		198	34	30	6	228	40	268

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。
令和元年度末における委託・許可件数は市町村では 384 件、事務組合では 111 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分		市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	129	36
	許可業(法第7条)	189	64
し尿	委託業(法第6条)	8	5
	許可業(法第7条)	58	6
合 計		384	111

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

令和元年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況 (単位:件数)

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	132	44	168

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況 (単位:人)

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,726	367	7	2,065

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値(ng-TEQ/Nm ³)				
		R 元年度 調査結果	H30 年度 調査結果	H29 年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.001	0.000049	0.0071	1	
		0.000052	0.000088	0.0012		
		0.000037	0.00006	0.0095		
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	2.1	4.6	0.017	5	
		4.1	1.8	0.024		
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.010	0.000041	0.0000032	0.1	
		0.00019	0.0016	0.00084		
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター	BF	0.56	0.44	0.17	10	
				0.17		
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.000057	0.0000022	0.000034	1	
		0.00053	0.000025	0.000026		
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0	0.000033	0.000050	5	
		0.00010	0.00006	0.00011		
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	4.9	2.7	2.3	10	
		4.9	2.7	2.3		
海士町 海士町清掃センター	BF	0.036	0.033	0.023	5	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.047	0.067	0.1	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター(RDF)	MC	0.048	0.120	0.043	-	ごみ燃料化 施設
	BF					
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	0.24	0.55	2	5	

注)集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」